

七宝焼講習会

令和8年9月26日(土)、新宿高校6F工芸室にて「七宝焼講習会」を開催しました。
外部講師の佐久間先生と草川先生、新宿高校美術科の大竹先生をお迎えし、七宝焼の基本や制作のポイントを教えていただきました。

参加者は先生方にアドバイスをいただきながら、色や模様を工夫し、楽しみながら制作に取り組みました。制作中は先生方や参加者同士の会話も弾み、和やかな雰囲気の中で交流を深めることができました。

01 七宝焼ってどんなもの？

釉薬を重ね、約800℃で焼成

銅板などの素地にガラス質の釉薬を盛り、電気炉で焼いて仕上げます。焼く前と後で色や表情が変わるのも魅力です。

02 色を選び、模様を描く

釉薬やフリット(粉末以前の打ち砕かれた状態の七宝絵具の粒)を選び、模様をつくります。



03 焼成

電気炉で焼き上げると、釉薬の色や表情が変化します。



04 焼成直後と冷めたあとの色の变化



05 参加者のみなさんの作品

それぞれの個性が光る、色とりどりの作品。



文化部では楽しい講習会を年2回開催しています。来年度もみなさまのご参加をお待ちしています。
*PTA文化部委員への立候補もよろしくお願いします。